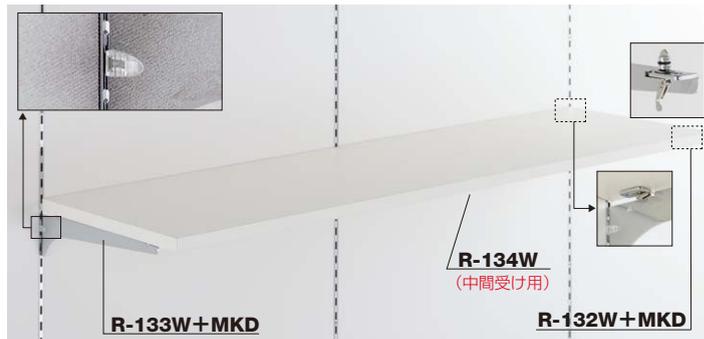
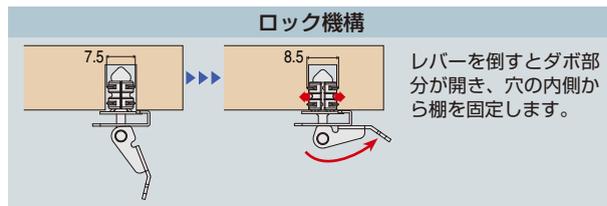


MKD 木棚固定ダボ
ニッケルカラー
¥180

専用 木棚Rブラケット	材質 SUS301 10.6	材質 スチール 10.6/0.1/8	付属 取付説明書
木棚 専用	材質 亜鉛ダイカスト	販売単位 10	別注色 対応不可 掲載色のみ



※上記品番は、参考選択例です。



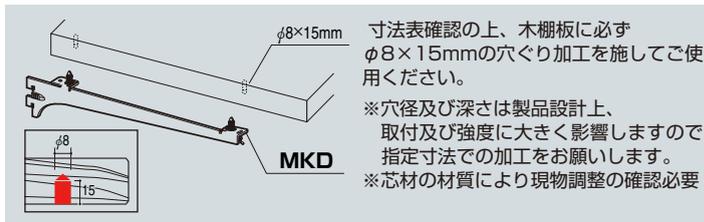
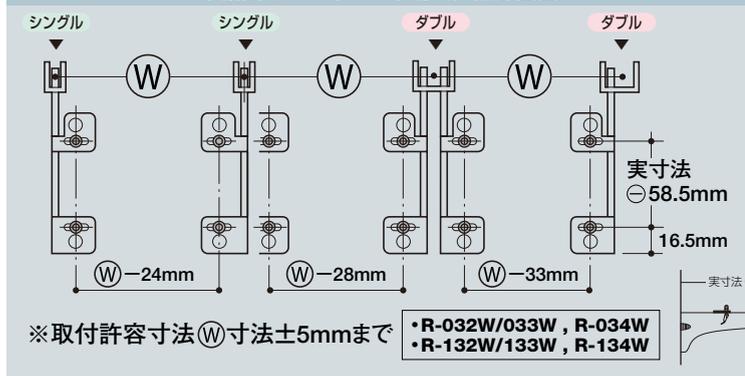
レバーを倒すとダボ部分が開き、穴の内側から棚を固定します。

取付ステップ

- ① MKDを小判穴に差し込み、MKD先端のペロ部分が矢印側に来るように回転させます (爪側も同様にペロ部分は矢印側に向けてください)。
- ② 固定金具をブラケットの内側からMKDのノド元に差し込みます。
※カチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。
- ③ MKDを装着したブラケットをサポートに取り付け、木棚のダボ穴位置を確認しながらダボ穴にMKDを差し込んでください。
- ④ 木棚に最後までMKDが納まったことを確認してから、MKDのレバーを倒すと固定されます。
※レバーの操作時、爪など傷めない様にご注意ください。木棚の材質により操作が固い場合がございます。

⚠ ご使用の際は必ず4点固定にてご使用ください。前のみ・後ろのみでご使用された場合、木棚が跳ね上がる危険性があります。

木棚固定ダボ (MKD) 用穴位置算出図



芯材推奨=ファルカタ材
MKD固定穴

固定強度を上げるためには芯材が必要です。強度試験については上記材質にて行なっているため、推奨材質以外での使用の場合は固定力が異なりますのでご注意ください。
固定穴は垂直に加工してください。取り付けや固定力に問題が生じます。

設計上の情報
左記パターン価格表示製品は、一部製品を除き弊社オリジナルカラー対応いたします。(詳しくは9970参照)

設計上の注意
棚受けは相手柱により安全目重量が異なります。設計段階から陳列商品の重量を考慮して適正製品をご選択ください。(9980参照)

設計上の注意
木棚板固定方法は直接タッピングビスで固定する方法と(簡易)固定用ダボ・木棚固定ダボによる方法の3通りあります。使用目的に適した方法をそれぞれ設計段階からご検討ください。

設計上の注意
木部棚受けのビス止めは爪が固定され、精度によりましては棚板の上下可動が困難となる恐れがあります。容易に可動させるためには簡易固定用ダボ仕様をおすすめします。

設計上の注意
棚受けより極端に前にはみ出す棚板は使用しないでください。先端に荷重がかかった場合後部はねがりの原因となります。(特に簡易固定ダボでの固定の場合は注意)

設計上の注意
中間受け用ブラケット(R-034W・R-134W)は、中間受け専用です。棚割りは出来ませんのでご注意ください。

設計上の注意
ベッカータイプサポート(1150 1200 9100参照)に装着する場合は棚受けの有効寸法が短くなりますので、棚板などの奥行き寸法にご注意ください。

設計上の注意
レベル出し金具(LW)を内々仕様を使用する場合は棚受けの有効寸法より最低32mm以上奥行き寸法が長い棚板をご使用ください。(32mm以下ではL金具が前にはみ出します)

設計上の注意
水平棚にはこぼれ止め(陳列商品落下防止用パーツ)を取り付ける事ができます。(2400参照)

発注上の注意
納期
本文価格表示製品及び別注色製品は全て受注生産品ですので納期が必要です。(詳しくは9970参照)

発注上の注意
専用発注書 FAX
ご注文は弊社専用発注書に必要事項を正確にのり付の無い様にご記入頂き、FAXをお願いいたします。記入もれや判別困難は確認を要するなど手配が遅れる原因となります。(9955参照)

取扱上の注意
ビス止めされた棚板のレイアウトを変更する時は、1人でしようとせず安全のため2人で行ってください。

取扱上の注意
抜け止めの取り外しについて
お客様にて抜け止めを取り外し、再度同じ抜け止めを使用する不具合については、責任を負いかねますのでご了承ください。

ウッドフレーム
水平ブラケット
傾斜ブラケット
ウッドパーツ